

日本計画行政学会 東日本大震災復旧復興支援特別委員会
東日本大震災の復旧復興に向けた研究活動チーム

1. 研究グループ名

--

2. グループ代表者

村山 武彦 (早稲田大学)

3. 研究課題名

福島県を中心とした震災・原発事故の影響と復興

4. 研究概要

<p>今回の大震災に際して、福島県を中心とする南東北や北関東の一部の地域では、地震や津波に加えて、福島第一原子力発電所の事故による影響が、復旧・復興過程に極めて大きな課題としてもたらされている。このことは、これまでの災害とは異なる大きな特徴であり、外国を含めて、これまでに経験したことのない状況に直面しているといっても過言ではない。</p> <p>特に、福島県では、宮城県以北と同様、太平洋沿岸部は津波の影響が甚大であるが、それに加えて原発事故によって拡散した放射性物質の累積線量が相対的に高い地域は発電所から北西部を中心に広範囲にわたっており、多数の住民が避難を余儀なくされている状況にある。他の地域と異なり、福島県においては、自然災害からの復旧・復興に加えて、蓄積しつつある放射性物質への対策にどう取り組むかが切実な課題となっている。</p> <p>提案者の一人である村山は、以前、福島大学に在籍していたことから、この間、現地の視察や福島大学の関係者と連絡を取りながら、今後の対応策について検討を進めてきている。本研究グループでは、大震災後、同大学に新設された災害復興研究所のメンバーを加えて、これまでに進められてきた自治体行政や地域づくりの動きを重視しながら、放射性物質によるリスクという新たな課題を含めた対応策について、検討を進めていくことを主眼に置く。</p>

5. 参加メンバー

氏名 (所属)
青山貞一 (東京都市大学)、大島堅一 (立命館大学)、清水晶紀 (福島大学)、鈴木浩 (福島大学)、丹波史紀 (福島大学)、千葉悦子 (福島大学)、満田夏花 (FoE Japan)、除本理史 (大阪市立大学)